

B I C

BUSINESS
INFORMATION
CENTER
AKITA

6

VOL.419
2016 Jun

MANAGEMENT REPORT

[巻頭] 経営探訪

最新技術と
ノウハウで、地域の
安全・安心を守る

株式会社
ウヌマ地域総研

04 センター活用事例 [case1]

模索と
挑戦を続け、
「伝統」を継承

株式会社
藤木伝四郎商店

05 センター活用事例 [case2]

秋田発の
洗車ビジネスに
挑む

株式会社ホワイトシード
(ビューティフルカーズ)

06 経営さぶりメント

健康寿命を
延ばそう！

食naviステーション
木村まゆみ

08 プラザ通信

ビジネスプラン
コンテスト
ビジネスプラン
大募集！

ほか



最新技術とノウハウで、 地域の安全・安心を守る

ウヌマ地域総研に直接関わりがないという人でも、実は知らず知らずのうちにこの会社のお世話になっている。同社の主な業務は、道路や河川、堤防、橋、貯水池、公園など、様々な公共インフラの設計・補償・調査を行うこと。私たちの暮らしの安全や快適性を支えている。

東日本大震災直後の様子。北上川下流管内にて、緊急を要する堤防の被災調査。



メンテナンスも積極的に行われている。同社は行政と災害協定を結び、様々な技術やノウハウを防災や災害復興に生かしている。

河川を例に挙げると、水の流れることによって川底の地形が度々変わるため、侵食や土砂の堆積が原因で洪水が起こらないように定期的に川底の地形を定点観測する調査や改修を担っている。

平成23年3月11日の東日本大震災の際は、北上川下流管内に駆けつけて緊急で堤防の被災調査を行った。地震でひび割れ、ボロボロになった堤防にかけ上がり、余震や津波の恐怖と戦いながら堤防決壊の可能性がないか被害状況を調査した。

「地震や大雨が発生すると『すぐに現場に駆けつけなければ!』という思い。場合によっては、緊急車両が通る前に、我々が道路や橋などを点検し、通っても大丈夫か確認することもある」

「今はだいぶ落ち着いた」と話すが、震災後は復興工事の計画設計にも数多く関わった。調査・計画・設計、メンテナンスで防災に寄与し、地域の安全・安心に技術で応える。社会になくてはならない存在として使命感をもって1つ1つの仕事に向かい合う。

最新機器でニーズに応える

平成21年に就任し、積極的に最新機器の導入を進めてきた鵜沼社長。「測量機器は、年々進化している。インフラ整備、街づくり、地域づくりにより深く貢献するためには、最新機器の導入とオペレーターの育成が急務」と話す。

同社では、遠隔操縦やGPS搭載による自律飛行で災害調査に役立つUAV(ドローン)、河川・ダム、海岸、港湾等で水深、測深位置、船位、水位、潮位を測定し、断面図の作成に活躍するビーム式のリモコンボートなどを導入。インフラ用ロボットを活用した技術の提案に力を入れている。技術を磨いて人を育て、社会のニーズに応えてきた同社。「かつては、新規で道路やダムを造るインフラ強化や、生産性の高い農業基盤の整備が盛んだったが、現在は今あるインフラをいかに維持するかが重視され、我々の役割も変わりつつある」。こうした変化と向き合いつつ、「少子高齢化、人口減少が進む秋田県においては公共工事が減少するのは明らか。最新機器の導入でさらなる技術の向上を目指し、今まで以上に幅広いニーズに応えていきたい。また、若い技術者の養成と技術継承に努め、秋田の未来を拓せる人材を育てていきたい」と熱く語る。

暮らしにおける縁の下の力持ち

昭和44年、湯沢市で「鵜沼工務店」として創業。昭和51年に法人化、平成2年に本社を秋田市に移転、同9年に現社名に名称変更。現在は湯沢、北秋田、仙台、盛岡に支社を構える。

創業時は測量業務が中心だったが、社会のニーズに合わせて、建設コンサルタントや調査分析、補償調査など業務を拡大。取引先は99%が官公庁で、国や県、市町村の公共インフラの構築、維持を支えている。

「我々の出番は、公共工事が行われる前の調査や設計、補償。そして完工後のメンテナンスなど。公共工事というとゼネコンのイメージばかりが強く、我々コンサルの存在は意外に知られていない」と鵜沼社長。同社は、まさにインフラを支える縁の下の力持ちである。

業務の3本柱は、「コンサルタント」「メンテナンス(点

検)」「リサーチ(調査)」。コンサルタント業務では、河川堤防、農業用貯水池、自動車専用道路などの計画・設計を行っている(建設コンサルタント)。そして、必要に応じ地権者と交渉し、支障となる建物などの補償算定を行う(補償コンサルタント)。

メンテナンス業務では、公共インフラを安心・安全に長く使うために、橋や道路管理施設、河川管理施設などの点検・診断・補修設計を行っている。調査業務では、地形や地質を測定し、データを公共工事の設計や災害予防、災害時の被災調査に役立てる。

防災や災害復興にも貢献

近年は、東日本大震災や熊本地震などの大地震や、水害、竜巻、豪雪など、天災が相次ぎ、インフラ整備の重要性が見直されている。防災のための調査や工事、



- A ドローンを活用した調査。災害現場等の危険箇所や積雪等で接近困難な所の調査に有効。
- B リモコンボートを利用した深淺測量業務。堆砂測量、貯水量計測などに用いられる。
- C 人工衛星からの電波を利用して高精度な測量を行っている。
- D 秋田市八橋新川向の本社で、企画立案、設計、調査、補償などのデスクワークが行われている。
- E 技術士、測量士、補償業務管理士、RCCM、一級・二級建築士などの資格を有する社員が働いている。

株式会社 ウヌマ地域総研

【本社】〒010-0965 秋田県秋田市八橋新川向13-19
TEL.018-863-5809 FAX.018-863-5022
http://www.unuma.co.jp/ E-mail:info@unuma.co.jp

- 設立/昭和44年4月
- 事業内容/建設コンサルタント、補償コンサルタント、社会インフラメンテナンス、地形・地質調査(測量、災害調査)
- 資本金/3,000万円
- 従業員数/63人

センター活用事例 [case1]

株式会社 藤木伝四郎商店

http://denshiro.jp

[本 店] 秋田県仙北市角館町下新町45 / Tel.0187-54-1151

[営業時間] 10:00~17:00

[定 休 日] 水曜日

「ギャラリーを設けることで、一度のみならず何度もお越しいただける店舗にしたい」と橋本さん。



の暮らしに合わせたデザインやシーンの提案など、権細工の魅力をあますことなく堪能できる。

平成22年にオリジナルブランド「角館 伝四郎」を発表し、現代の暮らしの中で求められる権細工の形やデザインを積極的に追求している同社。伝統の技術や工法を頑なに守りつつ、これからの権細工はどうあるべきか、模索と挑戦を続けている。

そうして生み出される商品の数々は、国内外で高く評価され、今や全国の百貨店やセレクトショップ、「クリスチャン・ディオール」、「ポール・スミス」など、海外の名だたる店舗でも販売されている。

よろずに相談し、原価管理に着手

国内外でファンを獲得する一方、新たな課題も抱えていた。「1つ1つ手作業で作るため、生産が追いつかず、お客様をお待たせしてしまうことがあった。解決には生産体制の強化が必要だった」と営業部長の橋本芽衣さん。そこで、当センターのよろず支援拠点に相談し、今まで手つかずだった工場の原価管理を行なった。これまで材料の扱いや生産現場の管理は、職人の経験や勘まかせだった。原価から見直し、しっかり生産状況を把握することで、コストや作業時間の無駄の削減を実現させている。

同社では大切に守る教えがある。それは「品を磨き、信頼を磨く」という初代伝四郎の言葉。この教えを見つめ直し、現代の権細工のあり方を問うたのが昨年急逝した六代目だった。歴代の思いは確かに受け継がれ、伝統に新たな息吹を吹き込んでいる。

株式会社 藤木伝四郎商店

伝統工芸・権細工の魅力を世界中に発信し続ける藤木伝四郎商店。本店がリニューアルオープン。

ギャラリースペース誕生

嘉永4年に創業し、160年以上の歴史を重ねる角館の「藤木伝四郎商店」。権細工の製造・販売元として地場産業を守り、受け継いできた。

4月1日、同社の歴史に新たな1歩が刻まれた。昨年11月からリニューアルのため休業していた本店が、晴れてオープンの日を迎えたのである。新たにギャラリースペースが設けられ、権細工のみならず、“ものづくり”の匠の技や名品を紹介。第一弾は、湯沢市の川連漆器。今後は定期的に様々なジャンルの名工、現代作家の作品を紹介する。

世界のトップブランドも注目

ギャラリーの奥に続く江戸時代建造の内蔵も見逃せない。藤木伝四郎商店が誇る伝統の技、現代

センター活用事例 [case2]

株式会社 ホワイトシード (ビューティフルカーズ) https://www.beautifulcars.biz

秋田県秋田市広面字士手下13-4 / Tel.018-874-9486

[営業時間] 10:00-19:00

[定 休 日] 月曜日、第2・第4日曜日

「当店で洗車を受けて、お客様が感激して喜んでくれている様子を見ることがうれしい」と村上篤社長。



秋田発の洗車ビジネスに挑む



株式会社 ホワイトシード (ビューティフルカーズ)

無数の傷に覆われた車でも、息を呑むような、つややかな輝きに。愛車を美しく変身させる専門店がある。

“洗車”に特化した専門店

秋田市広面で洗車・磨き・コーティングの専門店「ビューティフルカーズ」を営む「ホワイトシード」。洗車・磨き・コーティングに特化した専門店は、県内では稀有な存在だ。

ポリシーは「『美しいクルマと共に暮らす。』喜びをお届けすること」。技術・実績の確かなプロが施工を行うことはもちろん、お客様が正しく洗車できるようにサポートにも力を入れている。村上篤社長は「間違った方法で愛車のお手入れをしている人が多いことに気がついた。正しいお手入れ方法を普及させたいと思った」と起業の理由を語る。

村上社長は自動車業界で20年の経験を積み、老舗専門店で洗車・磨きの技術を習得。さらに独自に研究を重ね、ホワイトシードを設立したのが2012年。

昨年には屋内洗車場を備えた新店舗が完成した。

新車以上の輝きに

「車のボディは硬く丈夫だと思われがちだが、実際は非常にデリケート。普通に洗車をしてしまうと、無数の細かな傷がつく。他にも水道水に含まれるミネラル分が付着する水ジミなど、洗車やお手入れの方法を間違るとあっという間に傷だらけ、汚れだらけになってしまう」。ゴシゴシと塗装面をこする洗車はNG。晴れた日の洗車も水ジミの原因になるので避けたほうがいいという。また、「『何年か乗ったら塗装面の細かな傷は、当然ついてしまうもの』とか『数年経てば新車の輝きは戻らない』と諦めている人が多いが、これも誤解。我々の技術で洗車すれば、何年でも新車の美しさを保てるし、傷んでしまった車でも磨けば新車以上の輝きがよみがえる。正しい洗車は力を入れない優しい洗車なので、結果的にお手入れも楽になる」と胸を張る。

オリジナル「洗車用純水器」を開発

ビューティフルカーズでは、水道水による水ジミを防ぐため、ミネラル分を除去した純水で洗車を行う。そして、お客様が家庭でも純水で洗車ができるように、オリジナルの洗車用純水器を開発。当センターの知財・デザイン担当アドバイザーのサポートのもとで試作を重ね、実用新案も取得した。現在はテスト販売中だが、今後は製造を外注して増産し、店頭やインターネットで販売する。「美しいクルマと共に暮らす。」喜びをお届けするために情熱を注ぐ村上社長。このビジネスを軌道に乗せ、「雇用を増やし、地元秋田を元気にしたい」と夢を語る。

事業概要1 知財総合支援窓口

特許・商標等の出願やライセンス契約、知財紛争など、知的財産に関する悩みや課題の解決を支援します。

事業概要2 産業デザインに関する助言

産業デザイン、製品開発、マーケティング等についての専門的な助言やデザイナーとのマッチング、コーディネートを行います。

あきた企業活性化センター 総務相談グループ
知財・デザインセンター担当
お問い合わせ TEL 018-860-5614

事業概要 秋田県よろず支援拠点

秋田県内の中小企業・小規模事業者のための経営相談所として、売上拡大、経営改善など経営上のあらゆるお悩みの相談に対応します。コーディネーターを中心とする専門スタッフが適切な解決方法を提案します。

お問い合わせ あきた企業活性化センター 秋田県よろず支援拠点
TEL 018-860-5605



A オリジナルの洗車用純水器。形状、コスト、使い勝手など様々なことに配慮し、1年以上かけて納得のいく形に仕上げた。

B 車の塗装面。左は水道水の水ジミが付着した状態。右は、純水を使用する同社の洗車後。

模索と挑戦を続け、「伝統」を継承



A リニューアル後の本店外観。玄関に入ってすぐギャラリースペースが広がっている。

B 店舗奥の内蔵では、歴代の名工の作から現代の暮らしに合わせた商品まで多数の権細工を展示販売。

健康寿命を延ばそう！

健康寿命とは何か

心身ともに自立し、健康的に生活できる期間をいいます。生きていて時間の中で、活動的に行動できる時間をどれだけ過ごせるかが大切だと言われ始めました。元気で美味しくごはんを食べている高齢者を見ると、とても羨ましいですね。友人と話をしたり、運動したり、笑いあえる時間が長いほど、健康寿命が長く続くと言われています。その健康寿命を延ばすための秘策が次の4つです。

- 免疫力を高める
- 腸活をする
- ロコモ対策をする
- メタボにならない

① 免疫力を高める

体が病気などに立ち向かう力を高めるとのこと。前回もお話ししましたが、毎日の食事をバランスよく摂取することの他に、体温を上げる、良い睡眠をとる、筋肉を鍛える、笑う、呼吸を整えるなどいろいろあります。特に

新緑の季節となりました。一雨ごとに木々の緑が鮮やかになってきました。そろそろ春の健康診断の結果が出た方、これから健康診断を受ける方には、ある意味、ドキドキする季節ではないでしょうか。自分の体と向き合う時期でもあります。今回は、最近話題のキーワード「健康寿命」について取り上げたいと思います。

体温を上げることはとても大切。低体温や冷え性でお悩みの方も多いと思います。入浴などで体を直接温める方法や、食べ物を摂取することで体の内側から温める方法があります。これから暑くなりますが、冷たいものを飲み過ぎて体を冷やさないことも重要です。

② 腸活をする

食事で摂った食品は、腸から栄養を吸収します。腸内フローラとは、腸の中の100兆個以上の細菌群のことで、花畑に例えられています。人それぞれ違います。善玉菌(乳酸菌・ビフィズ菌など)、悪玉菌(ウェルシュ菌・大腸菌など)、日和見菌の割合がバランス良く存在しないと下痢や便秘の原因となり、さらに体にかかり



のダメージを与えます。そこで、食物繊維を多く摂取することや発酵食品などに含まれる多様な善玉菌を取り入れることで、腸内環境を整え、元気にすることが重要です。

③ ロコモ対策をする

ロコモとは、ロコモティブシンドロームの略で、運動器症候群といえます。バランス能力の低下・筋肉の低下・骨や関節の病気などが発症し、進行すると介護の必要性、寝たきりになるリスクが高まると言われています。骨や筋肉は40代から衰えてくると言われているので、積極的に体を動かし、負荷をかけ、鍛えることを心がけてください。さらに、必要な栄養素を摂ることも大切です。カルシウム、ビタミンDやK、タンパク質なども一緒に摂ってください。

④ メタボにならない

メタボとは、メタボリックシンドロームの略で、内臓脂肪症候群ともいいます。お腹がちゅと出てるという問題ではなく、内臓脂肪の蓄積により、複数の病気を発症し、体に悪影響を及ぼす可能性があります。バランスの良い食事や運動療法を行うことで内臓脂肪を減少させましょう。

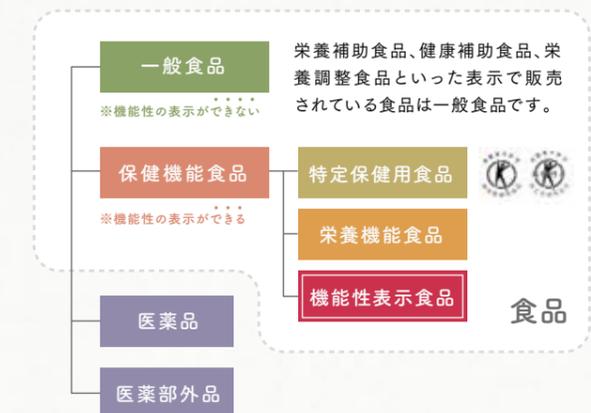
結論として、健康寿命を延ばすためには、日々の努力、積み重ねが必要です。バランスの良い食事はもちろんのこと、適度な運動が不可欠となります。美味しく食べて、運動をする！それが簡単でかつ難しい、健康への道だと考えます。

最後に、普段の食生活で不足した栄養素を効率よく摂取するために、開発された食品についてご紹介します。

食品の中で、機能性の表示ができる食品が3種類あります。一日に必要な栄養素が不足しがちな時に、それを効率よく補給することができる食品と考えてくだ

さい。「トクホ」は有名ですが、その他に栄養成分の機能表示をしている食品を「栄養機能食品」と言い、事業者の責任において科学的根拠に基づいた機能性を表示した「機能性表示食品」が昨年から増えました。これらを普段の食事に上手に組み合わせることも体にとっては良いことです。

これらの食品市場は、年々増加傾向で、機能表示をつけることで、付加価値となり、消費者が購入する選択肢になっています。もちろん、〇〇を食べると健康になります！と商品には書くことは絶対にできませんが、食品加工をされている業種では、ぜひこの新しい表示制度を活用し、販路拡大にお役立てください。



食naviステーション
管理栄養士
木村 まゆみ
Mayumi Kimura

【略歴】
秋田短期大学 生活文化学科 食物栄養専攻を卒業
秋田市にて、管理栄養士がすすめる、介護食品と健康維持に役立つ食品を販売している。
長年、秋田市の食品製造会社で商品開発と品質管理業務を行ってきた経験を活かし、平成27年からあきた企業活性化センターの専門家派遣事業にて、食品会社の衛生管理と商品開発をアドバイスしている。
同年、11月からは秋田県6次産業化プランナーに就任。
6次産業化を目指す農家の商品づくりをサポートしている。

あきた企業活性化センターからのお知らせ

自動車関連企業向けの各種展示会について

事業目的

県内のものづくり企業の皆さまの中長期的な発展を目指し、取引拡大や人材確保を支援します。

催事案内

平成28年度の大きな催し物として、県内外での展示会を下記の通り開催いたします。詳細な内容や募集要項等については、下記担当までお気軽にお問い合わせください。

[県外開催]

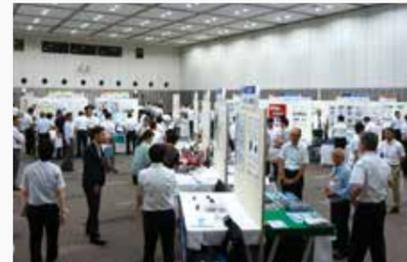
催事名	開催日	会場	趣旨/概要	案内・募集時期
青森・岩手・秋田自動車関連技術展示商談会 inダイハツ	平成28年 11月22日(火)	ダイハツ工業株式会社 (大阪府池田市)	●ダイハツグループに向けた技術・工法のアピールおよび商談により、取引拡大を図る ●青森・岩手・秋田の企業や研究機関からおおよそ30者の出展を予定	6月
とうほく・北海道自動車関連技術展示商談会	平成29年 2月2日(木)~ 2月3日(金)	刈谷市産業振興センター (愛知県刈谷市)	●中京地区の自動車メーカーおよび部品メーカーに向けた技術・工法のアピールおよび商談により、取引拡大を図る ●東北6県および新潟・北海道の企業や研究機関からおおよそ90者の出展を予定	6月

[県内開催]

催事名	開催日	会場	趣旨/概要	案内・募集時期
ものづくり企業展 in秋田大学 (仮称)	平成28年 10月4日(火)	秋田大学 手形キャンパス (秋田市手形)	●理工系の学生や研究者向けに県内企業の技術を紹介し、就職/採用活動の活性化および研究協力等への発展を図る ●県内の輸送機産業に取り組む企業をメインに、おおよそ30社の出展を予定	6月
あきたNEXT モーターショー 2016	平成28年 10月15日(土)~ 10月16日(日)	秋田県立中央公園 スカイドーム (秋田市雄和)	●会場内「ものづくりブース」にて、来場者(一般、大学生、高校生等)に県内企業の技術を紹介し、認知度を高める ●県内の輸送機産業に取り組む企業をメインに、おおよそ15社の出展を予定	6月



とうほく・北海道 展示商談会 会場風景 (平成26年度)



青森・岩手・秋田 展示商談会 会場風景 (平成27年度)

お問い合わせ | 販路拡大・ものづくり支援担当 | TEL 018-860-5623 FAX 018-860-5612

高齢・障害・求職者雇用支援機構からのお知らせ

平成28年度版 高齢者雇用安定助成金のご案内

1. 高齢者活用促進コース

高齢者が意欲と能力がある限り年齢に関わりなくいきいきと働ける社会を構築していくために、高齢者の活用促進のための雇用環境整備の措置を実施した事業主に対して、助成金を支給します。

助成額

最大1,000万円が支給されます

(60歳以上雇用保険被保険者1人につき20万円)

要した費用の2/3(中小企業以外1/2)

ただし、以下のいずれかの事業主の場合は60歳以上の雇用者1人当たり30万円を上限とする。

- 建設・製造・医療・保育・介護の分野に係る事業を営む事業主
- 65歳以上の高齢者(高齢継続被保険者)の雇用割合が4%以上の事業所
- 高齢者活用促進措置のうち「機械設備の導入等」を実施した事業主

申請手続き

- 環境整備計画書の提出(環境整備計画の開始日から起算して6ヶ月前の日から3ヶ月前の日までに提出願います。)
- 支給申請書の提出(環境整備計画の実施期間の終了日の翌日から起算して2ヶ月以内に提出願います。)

2. 高齢者無期雇用転換コース(新設)

50歳以上かつ定年年齢未満の有期契約労働者を無期雇用労働者に転換させた事業主に対して助成金を支給します。(制度を就業規則等に規定する必要があります。)

助成額

対象者1人につき50万円が支給されます。
(中小企業以外1/2)

ただし、1支給申請年度あたりの上限は10人とします。

高齢者活用促進措置の内容

1 新たな事業分野への進出等

- 高齢者が働きやすい事業分野への進出(新分野への進出)
- 既存の職務内容のうち高齢者の就労に向く作業の切り出し(職場または職務の再設計)

2 機械設備、作業方法、作業環境の導入・改善

- 高齢者の就労機会の拡大が可能となる機械設備の導入・改善、作業方法、作業環境の改善等

3 高齢者の就労の機会を拡大するための雇用管理制度の導入・見直し

- 賃金制度・能力評価制度の導入等
- 短時間勤務制度の導入等
- 専門職制度の導入等
- 研修システム・職業能力開発プログラムの開発等

4 高齢者に対する健康管理制度の導入(新設)

- 法定の健康診断以外の健康管理制度(人間ドックまたは生活習慣病予防検診)の導入
- ※みなし費用30万円(詳細条件要確認)

5 定年の引上げ等

- 定年の引上げ
- 定年の定め廃止
- 希望者全員を対象とする継続雇用制度の導入
- ※みなし費用100万円(詳細条件要確認)

申請手続き

- 無期雇用転換計画書の提出(無期雇用転換計画の開始日から起算して6ヶ月前の日から2ヶ月前の日までに提出願います。)
- 支給申請書の提出(転換後6ヶ月分の賃金を支給した日の翌日から起算して2ヶ月以内に提出願います。)

お問い合わせ | 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 秋田支部
〒010-0951 秋田市山王3-1-7 東キャンビル3F

TEL 018-883-3610 FAX 018-883-3611
http://www.jeed.or.jp/location/shibu/akita/

平成二十八年経済センサス・活動調査を実施します

～日本経済の未来は、あなたの調査票から～

- 平成二十八年六月に実施する経済センサス・活動調査は、全国すべての事業所・企業を対象に、全産業分野について売上(収入)金額や費用などの経理項目を同一時点で網羅的に把握する我が国唯一の調査です。
- 調査の結果は、国の各種行政施策をはじめ、地域の産業振興や商店街の活性化などの地域行政のための基礎資料として活用されます。
- 支社などがない事業所には、調査員が直接伺い、調査票をお配りします。
- 支社などがある企業等には、国が本社などに傘下の支社分の調査票をまとめて郵送します。

●調査票は平成二十八年五月末までにお届けします。ぜひ、インターネットでご回答ください。

◆調査の趣旨・必要性をご理解いただき、「ご回答をよろしくお願いたします。」

ビルくんとケイちゃん



経済センサスキャラクター

総務省・経済産業省・都道府県・市区町村

経済センサス-活動調査については、キャンペーンサイトをご覧ください。

平成28年
6月1日

経済センサス2016

検索

<http://www.e-census2016.stat.go.jp/>

そのアイデアが大きな夢への第一歩。



— あきた起業家交流フェスタ2016 —

10月28日(金)開催
あきたビジネスプラン
コンテスト

賞金
総額 **100万円**

ビジネスプラン
受付締切
平成28年
6月30日(木)
午後5時(必着)
まで

グランプリ(1点)	準グランプリ(1点)	グッドプラン賞(5点以内)	オーディエンス賞(1点) <small>秋田県信用保証協会賞</small>
賞金 50万円	賞金 20万円	賞金 5万円	賞金 5万円

プランの提出は、下記ホームページより所定の応募用紙をダウンロードし、必要事項をご記入の上、郵送または持参により提出してください。

<http://www.bizcon.vt-akita.com/>

主催: あきた起業家交流フェスタ2016実行委員会

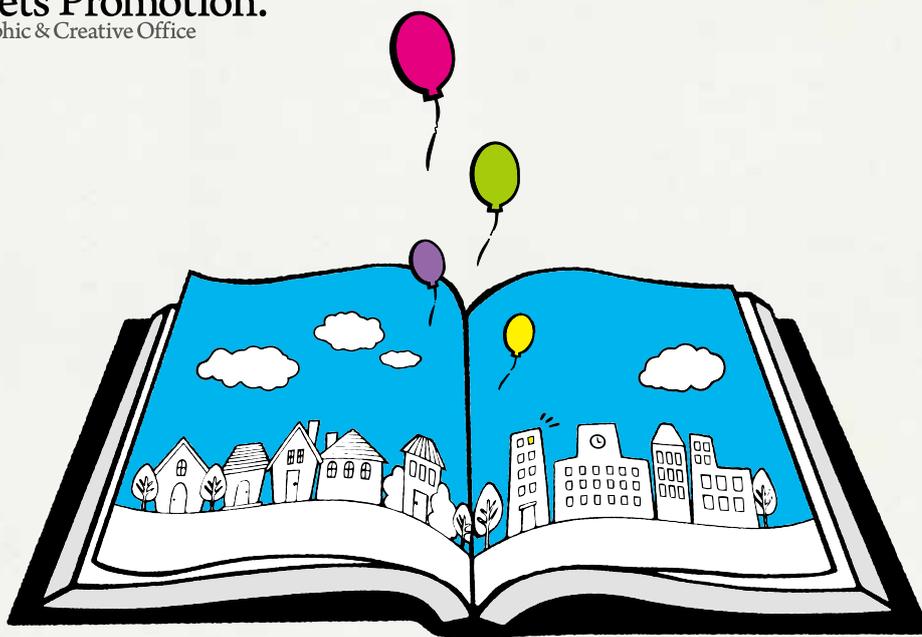
総括: 公益財団法人 あきた企業活性化センター / 協賛: 秋田県信用保証協会

後援: 秋田県・秋田市・秋田県商工会議所連合会・秋田県商工会連合会・秋田県中小企業団体中央会・秋田銀行・北都銀行・秋田県信用組合・秋田信用金庫・羽後信用金庫・日本政策金融公庫 秋田支店 ※順不同

お問い合わせ・お申込み先 ☎010-8572 秋田県秋田市山王3-1-1 秋田県庁第二庁舎2階(公財)あきた企業活性化センター【総合相談担当/関口】
TEL 018-860-5610 FAX 018-863-2390 メール joho-info@bic-akita.or.jp <http://www.bic-akita.or.jp/>

まちの小さなデザイン屋さん

Prets Promotion.
Graphic & Creative Office



「いい物語をもった人生」を考える。

身近なデザイン会社として、地域に密着したひとつの企業として。

「良い価値観を伝え、誰かを励ます力になる」

そんな存在になることを目指しています。

私たちは
こんな
会社です



スモールカンパニー
だからこそ身近で温かく
お客さまを支えます！

ブリッツプロモーションは
少人数で運営するデザイン

屋さんです。小さな会社だからこそ、そばでお客さまを支える身近な存在として、お客さまのお仕事の効果を引き上げるお手伝いをしています。

様々な
デザインを
しています



広告、企画、グッズ等
幅広くクリエイティブに
ご提案しています！

グラフィックデザインをはじめ、企画立案、コピーライ

ティング、グッズ展開もお任せください。「よりステキにすること」を心がけることはもちろん、お客さまの思いを受け止め、一緒にひとつのものを作り上げていきます。

お気軽に
ご連絡
ください

株式会社 ブリッツプロモーション
〒010-0001 秋田県秋田市中通6-1-65 PPビル4F
TEL : 018-893-5047
FAX : 018-853-7897
Mail : info@prets-p.co.jp



印刷のお見積り、デザイン制作のご相談など、
お気軽にご連絡ください

ブリッツプロモーション

検索

